

令和2年度 (一社) 犬山祭保存会常任理事会・理事会 第3回 議事録

日時	令和2年10月31日(土) 19:00~21:00
場所	IMASEN犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F
出席者 (敬称略)	<p>【常任理事】 会長(石田)、副会長(大澤・長谷川・小林・澤野)、会計(下山)、財務委員会委員長(今井)、祭礼準備委員長(水田)、伝統文化委員長(市橋)、伝統文化副委員長(長井)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田・陸浦)、企画広報委員長(松田)、企画広報委員長代行(斉木)、企画広報副委員長(西村・林・柴田)、専務理事(溝口)</p> <p>【理事】 枝町組理事(武藤)、魚屋町組理事(小川雅弘)、下本町組理事(柴田)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、本町組理事(兼松)、練野町組理事(長岡)、鍛冶屋町組理事(市橋義和)、名栗町組理事(森)、寺内町組理事(三輪)、余坂組理事(大澤)、坂下大本町組理事(一色)、内田町組理事(伊藤一則)</p> <p>歴史まちづくり課主査(市野)、文化スポーツ課(山本課長)、観光課(新原課長)、保存会事務員(竹村)</p>
議事	<p>I. 報告事項</p> <p>II. 議題</p> <p>①あいち山車まつり日本一協議会助成金、及び来年の祭礼について ②保存会費、協賛会費について ③その他</p>
配布資料	<p>1. 「令和2年度 第3回常任理事会・理事会」</p> <p>2. 山車まつり支援事業について</p> <p>3. 第8回日本の祭シンポジウムについて</p> <p>4. 13町内の車山蔵見学の計画・小学校からくり体験教室について</p> <p>5. 一般社団法人犬山祭保存会定款</p> <p>6. 来年の犬山祭に向けての企画としてマスク販売の概要</p>

議事内容	
I. 報告事項	

報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会長：昨今、全国的に少子高齢化が進みつつある事に関連して、空き家が目立つようになってきている。犬山も例外ではなく、人口の減少化は祭の担い手が少なくなる事にも繋がるので、積極的に犬山の外から来て新しく住宅を建てて入ってくる人達を受け入れて、昔からの住民とのコミュニティを一緒に再生していく事が重要となる。 ・保存会が一般社団法人化した事に合わせて、従来の意識のありかたを変化させていく事が求められるので、議論の中で少数意見を尊重しつつ、組織としての一定のコンセンサスを取る事を目指していく必要がある。 ・もしも来年の犬山祭が中止となると、二年連続で祭が行われない事になり、子供達にとっても祭の記憶が欠落してしまい、多大な影響を及ぼすのではないかと懸念されるため、来年の祭について深堀して議論したい。 ・下本町理事：先週末、どんでん館にて下本町の車山こわしを行った。その際、破風の傷みや、飾りの金具がついていない部分等がある事がわかり、歴史まちづくり課と協議して対応する事となった。
決定事項	—
<p>II. 議題 ①あいち山車まつり日本一協議会助成金、及び来年の祭礼について（資料：「山車まつり支援事業について」、「来年の犬山祭に向けての企画としてマスク販売の概案」）</p>	
報告／検討内容	<p>①あいち山車まつり日本一協議会助成金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専務理事：コロナウイルス感染対策により祭が中止となるにつれて保存・伝承が支障をきたす事を受けて、「あいち山車まつり緊急支援金」が創設され、山車一輛につき 10万円の助成金が交付される事となった。 ・企画広報委員会：緊急支援金を元にして、犬山祭に向けての企画として祭関係者が着用するマスクを各町内で販売する。マスクは各町内ごとにデザインを統一したのを作り、これを付ける事で各町内の連帯感を作り上げる事が期待できる。マスクは通常・笛マスクの二種類。

- ②来年の祭礼について(各町内の現状・祭開催に伴うウイルス対策の報告)
- ・町内では皆消極的で、来年の祭開催は難しいのではないかとこの雰囲気がある。
 - ・町内はやりたいという声が多いが、もしも開催するのであれば、全町内での感染対策の統一した指標を作り、各町内で共有する事が必要となるのではないかと。(多数)
 - ・祭をやる場合、会場がどうしても密状況になってしまう事を想定すると、子供の親が、子供の参加に消極的な反応をするのではないかと。
 - ・祭をやる側は感染対策を講じる事は可能ではあるが、不特定多数の見物客に関しては、同じような形で感染対策を取る事は困難ではないかと。それぞれ別の問題として対策を検討しなければならない。
 - ・マスクを着けたまま祭をやりたくないという気持ちもある。
 - ・練り物に関しては、人混みの中を歩いていく事になり、観光客の動きによって左右されるため、安全対策を講じにくい。どのように感染を防ぐかを慎重に検討する必要がある。
 - ・見物人対策として、実行は容易ではないが、神社前広場を封鎖して見物人の検温・マスクの着用をチェックし、入場料を取る方法もあるのではないかと。
 - ・犬山祭は全国的にも周知されているため、開催の是非に関しては、社会全体のコロナ禍に対する風潮と歩調を合わせる事も求められるのではないかと。

決定事項

継続審議

II. 議題 ②保存会費、協賛会費について(資料:「一般社団法人犬山祭保存会 定款」)

報告／検討内容	<p>○保存会の会員制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の理事会でも議論したように、従来の正会員・賛助会員・名誉会員の3つを、会員だけに統一し、会員からは一律1000円を徴収する。(16町内は町内会費を頂いているので免除。小中学生も免除) 会費は1口1000円以上、団体は3口以上とする。 16町内および町外から広く会員を募って、祭に参加する人たち全員が会員となる事で、同じコミュニティの成員であるという意識を共有してもらう事が狙い。(次回具体案を出す) ・これまで遠方から来て参加してもらっている人に、改めて会費を払ってもらうという事は言いにくい所がある。町内でも、上手く意図が伝達されないケースがある。 →祭執行部から、積極的に説得して行ってほしい。 ・総会の通知は、会員全員に対して行う。議決権は理事会にあるが、総会に参加する事はできる。 →会員全員が参加すると大人数になるため、総代会という形で行うのが良いのではないか。 ・保存会が一般社団法人となった事により、地域のコミュニティ、及びてこさん同士の繋がりが重要となる。人的な連帯感と持続性を強める事はユネスコの文化遺産の意義としても大切な事である。
---------	--

決定事項	継続審議
------	------

II. 議題 ③その他(資料:第8回日本の祭シンポジウムについて、13町内の車山蔵見学の計画・小学校からくり体験教室について)

報告／検討内容	<p>○第8回日本の祭シンポジウムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専務理事:今年も日本の祭シンポジウムを知立にて行う。祭関係者にも繋がりのある講演を聞く貴重な機会となるので、是非保存会の皆さんにも参加していただきたい。 <p>○13町内の車山蔵見学の計画・小学校からくり体験教室について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専務理事:毎年行っている13町内の車山蔵見学を11月に行う。各町内は車山蔵を開放して子供達の対応をお願いしたい。また、小学校のからくり体験教室も11月と来年の1月に行う。玉屋さんと、保存会のメンバー数名が同行する。
---------	--

決定事項	—
------	---

懸案事項／その他補足	

次回日時	令和2年11月
次回場所	IMASEN犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

記録日	R2.10.31
記録者	竹村

署名 溝口正成

竹村憲二